



子ども、お母さん、みんなが笑顔あふれる場所

—『名古屋市子ども・子育て支援センター 758キッズステーション』—

フィリピンにルーツをもつ子どもの貧困

—『フィリピン人移住者センター(FMC)』代表・石原パージ 事務局・後藤美樹 —

フィリピンのような発展途上国では、「貧困」は最大の社会問題であり、治療の難しい社会の病気といえるでしょう。

では、なぜたくさん外国人フィリピン人が日本に滞在しているのでしょうか。その理由は「貧困」です。彼らは来日することで、貧しい生活が改善することを期待しています。しかしながら、実際には、日本でさらなる苦労を経験することになります。日本語の問題、文化の違い、子育てなど、日本でも多くの問題に直面しています。また、彼女たちの夫となる日本人は、低所得者層に属していることも多いのですが、フィリピン人妻がこのことを理解しないしていると、夫婦関係に亀裂が入ります。DVの被害にあったり、離婚問題に悩んだりする女性もいます。

FMCは2000年に設立され、フィリピン人同胞が抱える問題に対応してきました。私たちはこれまで、女性を中心とした大人の相談にのってきましたが、約5年前から、フィリピンにルーツをもつ子どもたちの支援にも取り組んでいます。

私たちが支援している子どもたちのほとんどは、母親がフィリピン人です。日本で生まれ育ち、フィリピンには行ったこともない子がいる一方で、フィリピンで育ち、学齢期の途中で日本に呼び寄せられた子どももいます。

フィリピン人のシングルマザーも増えていますが、その多くが低所得者で、生活保護を受給している世帯も多いです。母が仕事で忙しく、家にいないことも多いため、寂しい思いをしている子どもも多くいます。学校では差別やいじめの問題も深刻です。母親が再婚したことによって、ステップファミリーで育つ子もいますが、そういう子は家庭の中にも自分の居場所が見いだせないこともあります。

さらに、フィリピン人母親は、日本語での会話はできても十分な読み書きができない人も多いため、日本の学校独特の「お知らせ」を読むことができず、ましてや宿題をみることは大変難しく、学習面で苦勞する子どもも多いようです。こうした子どもの問題を解決するため、FMCは、保護者とくに母親向けの事業と子どもを対象とした事業を行っています。

まず保護者向け事業としては、数年に1回フィリピン

人保護者を対象としたワークショップを行っています。昨年度は「Know Your Community! あなたの地域について知ろう! 教育編」という事業を行い、参加者に日本の教育制度について通訳付きで説明するとともに、子育ての悩みについて自由に語る場を設けました。

また2014年からは、子どもに日本語や学校の宿題を教えたりする「トライシクル教室」をスタートさせました。トライシクル(tricycle)とは、バイクにサイドカーを取り付けたフィリピンの庶民の足である三輪タクシーです。トライシクル教室のトライには「3」を意味する「tri」と「挑戦」を意味する「try」の2つの意味が込められています。「地域・家庭・学校」「子ども・保護者・支援者」「フィリピン・日本・世界」、3つをつなぎながら、教室が子どもたちの居場所になることを目指しています。



豊橋で行われた「Know Your Community!」の様子



代表・石原がテファニコレナト賞をいただきました

INFORMATION

FMCでは、事務局・翻訳ボランティア、トライシクル教室で子どもたちに勉強を教える先生を募集しています。お問い合わせは下記まで。

フィリピン人移住者センター(FMC)
住所: 名古屋市中区栄4-15-14 栄ハイホーム616号室
電話: 052-242-8360 / 080-4212-6576
E-mail: tricyclechildren@gmail.com

最近、子どもに関するニュースが増えているように感じます。そんなニュースに触れるうちに、実際に子ども達が過ごしている現場を自分の目で確かめてみたくなりました。そこで今回は、名古屋市中区栄のナディアパーク内にある名古屋市子ども・子育て支援センター758(なごや)キッズステーション取材してきました。

お母さんの孤立化を防ぎ、ネットワーク作りのお手伝いを

初めてその現場を訪ねたとき、明るい雰囲気を楽しそうだなあと感じました。名古屋市の施策の一環として、次世代育成支援のための総合的な核施設として設立されました。平成27年4月からNPO法人3団体が共同事業体として名古屋市から委託され、協働で運営されています。

現在、少子化や地域社会のつながりの希薄化から、子育て家庭のお母さんの孤立化が進行する中で、安心して子育てができるよう、情報発信、支援者育成、ネットワーク作りなどに力を入れています。主として0歳から2歳程度のお子さんとその保護者を対象としています。

今後、子育て家庭がもっと気軽に立ち寄ることができ、仲間作りや相談ができる環境作りができればとのこと。Facebookページもあり、さまざまな講座の様子やイベント情報などを発信しています。講座の空き情報を発信すると、すぐいっぱいになるほどの反応があるそうです。今後も子育て中の孤立感、ストレスの軽減につながるような講座の開催や企業との連携などを通じて、子育て情報をどんどん発信していくことを目指しています。

お母さんの笑顔 = 子どもの笑顔につながる

キッズパークには、子育てコンシェルジュというスタッフが常駐しており、子育てに関するいろいろなことを気軽に話すことができます。無理をしない子育てを一緒に考えていくという姿勢で、お母さん達をサポートしています。

子どもがお母さんに「あそこに行きたい!!」とキッズパークに行くのをおねだりすることもあるそうで、スタッフの方も嬉しかったそうです。



親子で遊べるキッズパーク

また、遊びに来ているお母さん達に声をかけて間に入ることで、お母さん同士のネットワークの架け橋となれることにも喜びを感じているとのこと。お母さん達は、ここに来ると子どもがいつもより笑うんです、と話されるそうです。それはきっと、お母さんがリラックスして過ごすホッとした笑顔が子ども達を感じ取っている、ということかもしれませんね。

子ども達の遊び場としてのキッズパークはもちろん、その他にもご飯を持ち込んでゆっくり食べられるスペースや授乳室も完備されています。何より驚いたのは、男性トイレにも子ども用ベッドが置いてあり、そこで子どものオムツ替えをしているお父さんを見かけたことです。栄という土地柄、家族で買い物でたら、ふらっと立ち寄る家族も多いようで、お母さんのお買い物中に、お父さんが子どもと遊ぶという光景が、ここでは当たり前になっているとか。そんなお父さん達がたくさんいたのが印象的でした。

また現在、学生ボランティアも募集しています。学部や学科を問わず受け付けており、ボランティア学生同士の交流はもちろん、実際に親子と触れ合い、学ぶことができるとても良い機会です。そして、何よりこの場所が広く知られることをスタッフ皆さんが望んでいます。興味を持たれた方がいらしたら、ぜひ立ち寄りみてください!!



名古屋の子育て情報がいっぱい

Information

名古屋市子ども・子育て支援センター
758キッズステーション
名古屋市中区栄3-18-1
ナディアパークビジネスセンタービル(ロフト名古屋)6階
TEL: 052-262-2372 FAX: 052-262-2370
Email: station@758kids.jp.org
HP: <http://www.kosodate.city.nagoya.jp/>